

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 東京発ショートフィルムの祭典
 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2026

過去の応募作すべてにチャンス！時代を超えた リベンジマッチ「DCPアワード」本日より作品募集開始

～日本初、ブロックチェーンを活用したクリエイターコミュニティで
 民主的に選ぶ短編映画賞に賞金50万円



米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA) と、デジタル通貨「DCJPY」ネットワークを提供する株式会社ディーカレットDCP (以下、ディーカレットDCP) は、本日2026年3月30日 (月) より、クリエイター支援を目的とした新たな試み「DCPアワード」の作品募集およびDAO参加者の募集を開始いたします。

URL <https://app.lifelogbox.com/festival/shortshorts/dcp>

■ 「DCPアワード」とは：

ディーカレットDCPが提供する価値循環型のコミュニティ(DAO)の実証システムを活用して、参加者同士が民主的、かつオープンに受賞作品を選定するアワードです。2026年の本アワードでは、作品を応募するクリエイター同士による民主的な投票で受賞作品を選びます。応募対象作品は「過去にSSFF & ASIAへ応募したことのあるすべての日本作品」で、「当時は時代の先を行き過ぎていた」「惜しくも選に漏れた」といった作品に、再びスポットライトを当てる“時代を超えたリベンジマッチ”です。2000年代の応募作から直近のものまで、過去のノミネートの有無や受賞歴は一切問いません。

■ 貢献・熱量とリワード・ステータスの価値交換が行われる「価値循環型コミュニティ」

ディーカレットDCPは、ブロックチェーン技術を基盤としたデジタル通貨「DCJPY」を活用し、企業や地域、人々がより円滑につながる「価値循環型コミュニティ」の創出を目指しています。株式会社ビジュアルボイスとの協業を通じて、新たな創作活動に繋がるクリエイター同士の繋がり強化、ファンによるアワードプログラムの選定・運営、クリエイター・ファンによる作品共創などの実証に取組み、コミュニティに対する参加者の貢献や熱量が自身のステータスとして蓄積し、デジタル通貨や特別な体験としてリワード付与されるような価値循環型コミュニティサービスの実現を目指します。2026年のDCPアワードでは、出品作品を応募するクリエイターを対象とし、応募者同士が互いの作品を鑑賞・投票し受賞者を決定する民主的投票の体験の他、他のクリエイターからの評価やフィードバックの可視化、Discordコミュニティを通じた繋がり創出の機会を創出を行います。

■ 優秀賞には賞金50万円、副賞としてディーカレットDCPの公式クリエイティブパートナーに選出

受賞者には、賞金として500,000円が贈られるほか、副賞として、ディーカレットDCP公認の「公式クリエイティブパートナー」として選出させていただきます。今後1年間にわたり、ディーカレットDCPが提供するトークン化預金「DCJPY」に関するプロモーションムービーをはじめ、各種映像コンテンツの制作を優先的にご担当いただきます。

SSFF & ASIAは映像クリエイターやコンテンツの地位向上、そしてそれらを世に広めるために、25年以上にわたり活動してきました。ブロックチェーンを活用した民主的な活動がより身近なものとなり、Web3及びウォレットを介してさまざまなサービスとの連携ができるクリエイターネットワークの構築を本取り組みを通じて目指します。

【開催概要・スケジュール】

- 3月30日（月）：DAO参加者募集開始 / LIFE LOG BOX（LLB）にてエントリー受付開始
- 4月23日（木）：映画祭HP内詳細発表 / DAOサービスでのエントリー開始
- 4月30日（木）：エントリー締め切り
- 5月7日（木） 14:00：投票開始
- 5月17日（日）投票締め切り・結果確定
- 5月25日（予定）：SSFF & ASIA セレモニーにて受賞発表・賞金授与
- ※結果はSSFF & ASIA 2026 オープニングセレモニーまたはアワードセレモニーにて発表いたします。

【応募ガイドライン抜粋】

- 対象作品：過去にSSFF & ASIA（アメリカン・ショートショート含む）への応募歴がある日本作品
- 尺：25分以内（エンドクレジット含む）
- 登録料：¥5,000(税込)
- 応募方法：クリエイター向けプラットフォーム「LIFE LOG BOX」への登録が必要です。

応募ページ：URL <https://app.lifelogbox.com/festival/shortshorts/dcp>

<株式会社ディーカレット DCP代表取締役 会長兼社長執行役員 CEO 村林 聡氏のコメント>

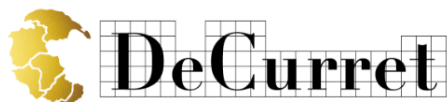


ディーカレット DCP は、ブロックチェーン技術を基盤としたデジタル通貨「DCJPY」ネットワークを活用し、企業、地域や各種コミュニティなどにそれに参加する人々がより円滑につながる「価値循環型コミュニティ」の創出を目指しています。本アワードでは、クリエイター同士が互いの作品を鑑賞し投票し合う体験のほか、作品に対する評価の可視化など、DCJPY ネットワークを通じて、クリエイター同士がより繋がる機会を創出すること目的としております。本アワードが、皆様の更なる作品の飛躍の一助およびクリエイター同士の繋がりのきっかけとなれば幸いです。皆様の作品と再会できることを、心より楽しみにしております。

<ショートショート フィルムフェスティバル & アジア代表 / 株式会社 ビジュアルボイス代表取締役社長 別所哲也のコメント>



ショートショート フィルムフェスティバル & アジアはグローバルな動画クリエイターエコミーを、ランキング・プラットフォームとして展開してきました。映画祭の企画・運営に携わる株式会社ビジュアルボイスでは、新たにWEB3、ブロックチェーン技術を活用したデジタルデータ・アセットマネジメント事業「LIFE LOG BOX」もスタートし、全人類 動画クリエイター時代の今、こうした事業によって、より民主化された次世代型のクリエイターエコミーを創出しようと考えています。今回ディーカレットDCP 様との協働により新しいスタイルのアワードを創出することは、大変エキサイティングなチャレンジです。知財としての動画アセットの新たな価値創造を、金融工学と情報工学の連携により創出していきたいと思っております。



株式会社ディーカレットDCP ディーカレットDCP は、民間銀行発行のトークン化預金「DCJPY」の発行・運用を支えるトークン化預金プラットフォームを提供しています。トークン化預金「DCJPY」は、銀行預金をブロックチェーン上でトークンとして表現し、デジタル取引に利用可能とする仕組みです。新たな通貨や暗号資産ではなく、法的には従来と同じ「銀行預金」であり、発行主体は銀行です。このため、預金としての安心・安全を備えながら、即時決済や取引条件に応じて自動実行される資金移転を可能にします。

【公式ウェブサイト】<https://www.decurret-dcp.com>

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2026 概要】

■映画祭代表：別所 哲也

■開催期間：

5月25日（月）オープニングセレモニー

5月26日（火）～6月9日（火）東京会場

6月10日（水）アワードセレモニー

※オンライン会場は 5月25日（月）～6月30日（火）

（期間により配信プログラムが異なります。）

■上映会場：MoN Takanawa: The Museum of Narratives

（Box1000、Tatami、パークテラス）

赤坂インターシティコンファレンス、ユーロライブ、

WITH HARAJUKUほか

※会場により、期間、プログラムが異なります。

■チケット：上映会場、オンライン会場ともに有料、一部イベントは無料

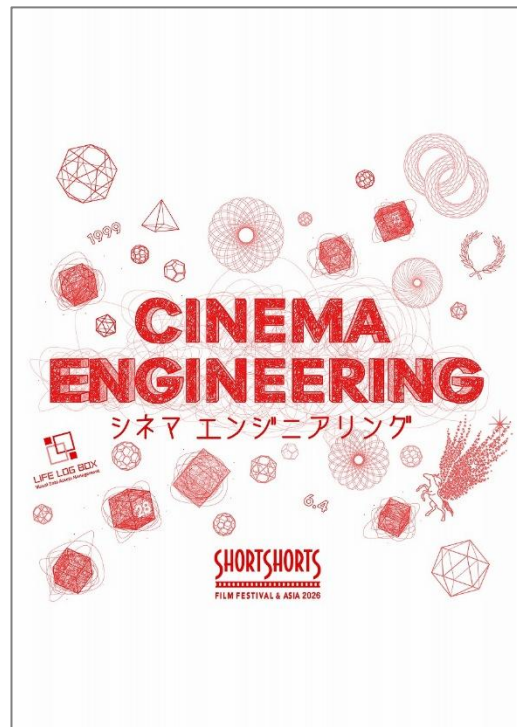
販売開始は4月23日（木）14:00～

■一般からのお問い合わせ先：info@shortshorts.org

■オフィシャルサイト：<https://www.shortshorts.org/2026>

※2026年のラインナップは4月25日（木）に公開

■主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会



【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

SHORTSHORTS

FILM FESTIVAL & ASIA

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。

また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生。現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、ライブアクション部門（インターナショナル、アジアインターナショナル、ジャパンの各カテゴリー）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】<https://www.shortshorts.org>

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）
阿部、武田

TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050 / E-mail：SSFF@ssu.co.jp

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail：
press@shortshorts.org

画像は下記よりダウンロードいただけます（期間：3月25日～6月30日）

<https://drive.google.com/drive/folders/1sruBcbGkI0UdgIhvqtF-1SJjMC-R67ai?usp=sharing>